オオイトトンボ *Cercion sieboldii* (Selys)

イトトンボ科

塩尻市	EX EW CR EN VU NT **DD**
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

腹長は27mm内外、黒色で雄では腹節に水色の紋があり、腹端が水色をしています。一般に春型は大きく夏型は小さいです。種小名のsieboldiiは日本の動植物を研究したドイツ人のシーボルト（P.F. von Siebold）に由来しています。

生息環境

低地の水生植物が多い池沼に生息し、6～9月に見られます。

国や県の分布

北海道（南部）・本州・四国・九州に分布する日本特産種です。

エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum* (Selys)

イトトンボ科

塩尻市	EX EW CR EN **VU** NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

腹長は27mm内外で、オオイトトンボと似ていますが、雄では腹の前の方にスペードないしハート状の黒紋があるので、区別できます。「エゾ」は北海道の意味です。

生息環境

オオイトトンボより山地性で、やはり水生植物が豊富な池沼に生息していますが、産地は限られます。6～7月が出現期です。

国や県の分布

北海道・本州（東北部、中部山地）と国外では、サハリン・朝鮮半島・中国東北部・東シベリアに分布します。

ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys

カワトンボ科

塩尻市	EX EW CR EN VU NT **DD**
長野県	EX EW CR EN VU **NT** DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

腹長が55mmもある大形のカワトンボです。胸部は光沢のある赤銅色ですが、腹部は金属緑色です。羽は赤褐色で後ろ羽の先の方に濃い帯があります。水中に潜って産卵します。

生息環境

周囲に樹木がある山間の渓流に生息しています。ミヤマは深山のことですが、高山ではなく、むしろ里山のトンボです。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布する日本特産種です。県内に分布しますが、東信と南信には普通に見られるものの中信と北信では少ないようです。

ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys)

ムカシトンボ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	**NT**	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

化石として出てくる１億５千年前のトンボに似ているのでこの名前がつけられ、生きている化石ともいわれます。世界中でも本種とヒマラヤムカシトンボだけです。腹長38mm内外で飛ぶのは速いです。

生息環境

地層が古くて樹木の多い山間の渓流に生息します。幼虫期間が８年と長いので環境の変化に弱いです。6~7月に見られます。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布する日本特産種です。県内の山地に広く分布しますが、南信は比較的少ないようです。本種の幼虫が1927年に初めて採集されたのは旧木曽福島町でした。

ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* (Selys)

サナエトンボ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
塩尻市	EX	EW	CR	**EN**	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が40mm内外の中形のサナエトンボで、腹部の先の方がふくらんでいます。名前に深山とあるのは山地で見かけるからですが、低地から移動してきたものです。

生息環境

幼虫は低地で底が砂泥の河川に生息します。まれに諏訪湖の岸で羽化しますが、これは流入する川から侵入したものです。6~7月に羽化すると山地に移動して、8月頃に低地の河川に戻ります。

国や県の分布

本州・四国・九州、国外では朝鮮半島・中国東北部・アムールなどに分布します。県内各地から記録がありますが、多くはありません。これは移動して分散するからと考えられます。

クロサナエ *Davidius fujiama* Fraser

サナエトンボ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
塩尻市	EX	EW	CR	EN	**VU**	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が33mm内外、黒味が強いので名前にもなっています。種小名のfujiamaは富士山のことです。産卵は単独で飛びながら、水面上というよりは岸の砂地や苔などの上に卵をばらまきます。

生息環境

幼虫は山間の渓流で流れの緩やかな場所の砂泥に潜っています。5~7月に羽化し、その後あまり移動はしないようです。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布する日本特産種です。県内にはやや広く分布しますが産地は限られ、とくに南信ではまれです。

ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* (Fraser)

サナエトンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が30mm内外の小形のサナエトンボ。種小名のfujiacusも富士山に由来します。雌は水辺にとまって腹端を水につけて産卵します。この産卵法は日本のトンボでは本種だけです。

生息環境

前種クロサナエと同じく、山間の渓流に生息しています。6～7月に発生し、生き残りは8月中旬まで見られます。垂直分布の最高は、白馬大池（2,379m）です。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布する日本特産種です。県内にはやや広く生息していますが、比較的まれで産地も限られます。

オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* (Oguma)

サナエトンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が29mm内外で、本州では一番小さいサナエです。オジロは腹端の付属器が白いということで、種小名のsuzukiiは、昆虫採集家の鈴木元次郎に由来します。

生息環境

低山地の渓流に生息しますが、暖地性種のため後記のように信州では非常に珍しいトンボです。8月に発生します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布する日本特産種です。

マダラヤンマ *Aeshna mixta soneharai* Asahina

ヤンマ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が47mm内外の小形で美しいヤンマです。雄の腹部には青色の斑紋がありますが、雌には斑紋が黄緑色と青色の2型があります。ヤンマ類には珍しくよくとまります。亜種名は豊科町に住んでいた曽根原今人に由来しています。

生息環境

低地のガマ・フトイ・ヨシなどが繁茂した池沼に生息しています。8月に羽化し、9～10月が活動期なので、秋のヤンマといえます。

国や県の分布

本亜種は北海道・本州（東北部・関東北部・中部）に分布する日本特産亜種です。

ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys)

ヤンマ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長53mm内外、黒地に淡黄色の斑紋がある弱々しいヤンマです。和名・種小名とも、イギリス人のミルン（J. Milne）に由来します。

生息環境

山間の樹木に覆われた渓流に生息しています。本種も主として8～10月が活動期なので秋のヤンマです。たそがれ活動性で早朝や夕方、曇りの日中などに見られます。水際の朽木に産卵します。

国や県の分布

北海道（南部）・本州・四国・九州・種子島などに分布する日本特産種です。県内各地から記録がありますが多くありません。これはたそがれ活動性のために、日中はなかなか見られないからではないかと考えられます。

ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys)

ヤンマ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が60mm内外の大形のヤンマです。体は黒色味が強く青緑色の斑紋があり、腹部前方の側下部には美しい青色斑があります。屋内に迷入する習性があり、とくに雌に強いようです。

生息環境

低地にある樹木に囲まれた、岸が湿った土の小池に生息します。それは雌が水際から離れた土に産卵するからです。7～8月が活動期です。このような池にはタカネトンボもよく生息しています。

国や県の分布

本州・四国・九州・屋久島・種子島・奄美大島・南西諸島など、国外では中国中部に分布しています。県内に広く生息していますが産地は限られます。

オオトラフトンボ *Epitheca bimaculata sibirica* Selys

エゾトンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が38mm内外で、腹部に虎に似た斑紋（虎斑）があります。卵は紐状になったゼラチンの中に1,000個ほど入っています。最初は10cmぐらいですが水を吸って25cmぐらいに伸びます。

生息環境

低山地の水生植物などがある池沼に生息します。何もないと雌が卵紐をひっかけられないのです。活動期は6～7月で、雄は水面の上空で縄張り飛翔を続けます。

国や県の分布

本亜種は北海道・本州（東北部・中部山地）、国外ではサハリン・中国東北部・シベリア東部に分布します。県内には比較的広く生息します

ホソミモリトンボ *Somatochlora arctica* (Zetterstedt)

エゾトンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が36mm内外の細身のトンボです。腹部はにぶい金属緑色ですが、胸部の光沢はきわだっています。

生息環境

ミズゴケやモウセンゴケのある高層湿原に生息しています。7～8月が活動期で、雄は湿原の上空で縄張り飛翔を続けます。

国や県の分布

北海道・本州（福島・群馬・栃木・長野・新潟・岐阜の6県のみ）、国外ではサハリン・カムチャツカ・シベリア・ヨーロッパ北部に広く分布します。

エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* viridiaenea (Uhler)

エゾトンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

ホソミモリトンボに似ていますが、腹長が37mm内外とやや大きく、体ががっしりしているので区別されます。低地の個体は、高地のものより大形なのでオオエゾトンボとされましたが、同種のようです。

生息環境

主に低地の湿原に生息しますが、高層湿原でも見られます。活動期は7～9月で、雄は縄張りやホバリング飛翔をします。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・奥尻・隠岐、国外ではサハリンに分布します。

ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys)

トンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が24mm内外で、腹部が幅広いトンボです。シオカラトンボのように雄は成熟するにともなって、麦わら色から黒色、さらに青白い粉が出るようになります。雌は麦わら色のままです。

生息環境

低地や低山地の水草の多い池沼・水田・湿原などに生息しています。活動期は6～8月で、成熟した雄は静止型の縄張りを作って、他の雄が侵入すると飛び立って追い払い、雌が来ると交尾します。

国や県の分布

北海道（南部）・本州・四国・九州・佐渡・対馬、国外では、朝鮮半島・中国東北部などに分布します。県内に広く生息しています。

ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* Rambur　トンボ科

塩尻市	EX	EW	**CR**	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が13mm内外（体長：18mm内外）で、一番小形です。腹部は、雄では真赤、雌では黒地に黄色と褐色の横縞があります。

生息環境

ミズゴケやモウセンゴケなどがある日当たりの良い湿原に生息します。水溜まりは深さ5cm程度で干上がらないことが条件です。たとえば山裾で水が年中しみ出しているような所です。

国や県の分布

本州・四国・九州、国外では、朝鮮半島・台湾・中国・東南アジアなどに広く分布します。県内では中信と南信に多くの産地があります

マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* (Selys)　トンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	**DD**	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長は22mm内外で、成熟した雄は腹部が赤く顔が「おしろい」を塗ったように青白いので、舞妓のようだとして名付けられました。羽の付け根のわずかな橙黄色が、まれに大きくなることがあります。

生息環境

低地～低山地の、底に落葉などが堆積している水草の多い池沼に生息しています。活動期は8～10月です。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・佐渡、国外では、朝鮮半島・中国の東北部と北部に分布します。

ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* (Bartenef)　トンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	**VU**	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が21mm内外の一番小形のアカネです。雄の腹部は赤くなりますが、顔は淡黄色です。

生息環境

低地～低山地の日当たりの良い湿地に生息します。このような環境は、ハッチョウトンボの生息地と似ているので混生することがあります。出現期は7～9月です。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・対馬、国外では、朝鮮半島・中国東北部・ウスリーに分布します。県内各地に生息しますが、産地は限られ、とくに北信と東信にはあまり記録がありません。

リスアカネ *Sympetrum risi risi* Bartenef

トンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長が26mm内外の中形のアカネです。和名・種小名ともにスイス人の偉大なトンボの分類学者リス（F. Ris）に由来します。雌は連結または単独で空中から卵を産み落します。

生息環境

低地や低山地の樹木に囲まれた池沼に生息しています。成虫も樹林縁が好きです。活動期は8～10月です。

国や県の分布

本州・四国・九州・隠岐・対馬など、国外は朝鮮半島・中国の東北部と中部などに分布します。北海道には別亜種ヒメリスアカネが生息しています。県内各地から記録されていますが産地は限られ、一般に個体数も多くありません。

ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma

トンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

腹長は25mm内外で、前後羽の付け根の方が橙黄色（根黄）で美しいアカネです。雌は雄と連結して水面を尾端で打つようにして産卵するのが普通です。「打水産卵」といいます。

生息環境

低山地の、周囲に樹木が多くて水草が茂った池沼に生息します。5月下旬から出現し10月まで見られますが、最盛期は7～8月です。羽化すると水辺を離れて樹上で生活し、成熟すると戻ってきます。

国や県の分布

本州（関東以西）・四国・九州・隠岐・対馬・屋久島・トカラ列島などに分布する日本特産亜種で、別亜種のタイワンネキトンボは名前のとおり台湾に生息しています。県内に広く分布しますが産地は多くありません。

ミネトワダカワゲラ *Scopura montana* Maruyama

トワダカワゲラ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長20～30mm、翅のない原始的なカワゲラです。体は全体的に褐色～暗褐色です。単眼もなく、内部生殖器官も原始的な構造をしています。幼虫は成虫に似ていますが、尾がやや短く、第9腹節に白色の総状の鰓があります。成虫は秋に現れます。

生息環境

カワゲラの仲間の幼虫は、ほとんどの種が河川の上流のきれいな水が流れる流域、特に本種は河川源流や細流に生息しています。

国や県の分布

国内での分布は、近畿以北の山地に限られています。県内では、清冽な水が流れる山地に普通に生息しています。

エゾエンマコオロギ *Teleogryllus yezoemma* (Ohmachi et Matsuura)

コオロギ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長20mm程度、エンマコオロギとほぼ同じ大きさです。体は黒色で、頭部の幅がやや広く、複眼の上の眉状紋は、小さな点状になっています。8月の中下旬に成虫になります。鳴き方は、エンマコオロギとは、全く異なり「リーィ　リーィ」とやや低く弱く鳴きます。

生息環境

河原や石がゴロゴロした荒地、草がまばらに生えている、石と小石からなる乾燥地に生息します。

国や県の分布

北海道の最北端を除く全国、本州の東北から中部地方まで局地的に分布。

キリギリス *Gampsocleis buergeri* (de Haan)

キリギリス科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長40mm程度。体は緑色、または淡褐色で、前翅側面の緑色に黒点があります。翅端が腹部に達しないものがほとんどですが、まれに長いものもあります。雄の翅の重なり合う部分が発音器です。初夏に成虫が現れ、「ギィーチョン　ギィーチョン」と鳴きます。

生息環境

草丈の高い草原や田畑の土手の藪など、日当たりがよくて、草や低木が茂ったところに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

カワラバッタ *Eusphingonotus japonicus* (Saussure)

バッタ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長25～43mm、体は河原の石の色に似た灰色。後翅は、美しい青色で黒帯が入っています。日中は、石から石へと飛び移って、活発に活動します。飛翔力は強く、飛ぶ距離が数十メートルにも及ぶこともあります。7月下旬～8月上旬に成虫が現れます。

生息環境

河原の石のあるところに生息します。草が繁茂したり、汚れた石やごみがたくさんある河原には、生息していません。

国や県の分布

日本固有の種で全国に分布。県内では、全県の汚れていない河川の河原に分布します。

トビナナフシ類 *Necrosciinae sp.*

塩尻市	EX EW CR EN VU NT **DD**
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

体長50mm程度、緑色で後翅の先端はあまりとがらず、横脈が多数あります。ナナフシの仲間は、トビナナフシのほかに翅があるものはありません。成虫は、6～9月ころまで見られ、日本産のものは、雄がきわめて少なく、単為生殖によって増えます。

生息環境

雑木林など広葉樹の低木に生息し、クヌギ・コナラ・クリなどの葉を好んで食べます。

国や県の分布

本州と九州に分布するといわれています。

クロテングスケバ *Saigona ishidae* (Matsumura)　テングスケバ科

塩尻市	EX EW CR EN VU NT **DD**
長野県	EX EW CR EN VU NT **DD** N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

体長11mm程度、翅端まで14～15mm。体は暗褐色または黒褐色、頭部は長く前方へ突出します。その形が天狗の鼻に似ているので、テングという和名に由来しています。前翅は透明です。頭部から胸部にかけて、縦に黄白色のすじがあります。

生息環境

比較的標高の高い山地に生息します。日射が強くない木陰で、草丈が高い植物の葉上で見かけます。

国や県の分布

本州中部の山地・北海道に分布。

ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* (Walker)　セミ科

塩尻市	EX EW CR EN VU **NT** DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

特　徴

体長雄28～33mm、雌26～32mm、翅端まで雌雄とも40～47mm。頭部と前胸背は主に暗黄緑色または暗黄褐色で黒斑があります。「ツクツクボーシ、ツクツクボーシ、----- ツクリョーシ、ツクリョーシ」と鳴くので、和名は鳴き方に由来します。8月中旬に成虫が個体数を増すので、秋を告げるセミとされています。

生息環境

平地から低山地の雑木林に普通に見られ、市街地にも生息し、街路樹で鳴くのを聞きます。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・対馬・屋久島・種子島・口永良部島・中之島に分布。

チッチゼミ *Cicadetta radiator* (Uhler)

セミ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長雄18~21mm、雌20.5~24mm、翅端まで雄27~30mm、雌30~33mm。沖縄を除く日本産の最小のセミ。体は全体黒色、銀色または銀褐色の鱗毛におおわれています。静止すると、後翅は全体が前翅におおわれることなく、一部が腹背に露出しています。一般のセミ類とは、所属亜科が異なっています。「チッチッチッチ------」と同調子の連続音で、8月下旬~9月上旬に鳴きます。

生息環境

低山地の針葉樹林に多く、アカマツ・スギ・ヒノキなどの小枝にとまります。特に、樹高の低いアカマツに多いようです。

国や県の分布

北海道南部・本州・四国・九州に分布。県内では、全域に生息します。

ツノゼミ *Orthobelus flavipes* Uhler

ツノゼミ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

翅端までの体長6~8.5mm、体は黒色で、あらい点刻がたくさんあり、黄色の微毛が密生しています。前翅は透明で黄色をおび、脈は暗褐色で、前縁の先端部は黒褐色。前胸背の側突起の先端は、鋭くとがり後方に向き、後突起は細長く後方に伸びるが腹端に達しません。

生息環境

山地でアザミやヨモギなどキク科の植物が、寄主であろうと思われます。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。県内では、個体数は少ないですが、全域に分布すると思われます。

イトアメンボ *Hydrometra albolineata* (Scott)

イトアメンボ科

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長10~15mm、細長く糸状の小さな体形で、頭の先端部は膨れています。体色は暗褐色から黒色で、長翅型と短翅型があります。

生息環境

止水域に生息し、水田や溜池などで見られます。灯火に飛来します。

国や県の分布

本州・四国・九州に生息します。県内の分布状況は情報不足です。

コオイムシ *Diplonychus japonicus* Vuillefroy

コオイムシ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長20mm、前翅で獲物を捕らえ、体液を吸います。雌が雄の背中に産卵し、雄は卵が孵化するまで背中に背負ったままで生活します。

生息環境

湿原や池、沼、河川のよどみに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に広く分布します。

タガメ *Lethocerus deyrollei* (Vuillefroy)

コオイムシ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長60mm、日本で最大の水生昆虫です。頭が三角形で、複眼が大きく突出しています。前脚の腿節は大きく、太くて捕獲用で、その先端に鈎状の爪があります。中・後脚は泳毛が多く、扁平です。

生息環境

水田に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に生息しましたが、数が減少し、愛媛県で少数が生息します。県内では、1960年以前は生息していましたが、現在は絶滅しています。

タイコウチ *Laccotrephes japonensis* Scott

タイコウチ科

	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	

特　徴

体長35mm、体色は灰褐色。頭部は小さく、複眼は大きく、単眼を持ちません。前肢は細いが強力な捕獲肢で、中・後肢は歩行肢です。腹部末端から尾のように見える器官は呼吸器官です。小魚を捕らえ、体液を吸います。

生息環境

小川や溜池の浅くて流れのほとんどない抽水植物の茂みに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に広く分布。県内では、各地の溜池や小川に生息します。